



ひたむきな姿が認められています

“明るい家庭づくり作文”表彰式

11月20日（日）13時から、美作文化センターで美作・西粟倉PTA 連合会・母親委員会研修会、美作市・西粟倉村青少年健全育成大会が開催されました。まず、明るい家庭づくり作文の表彰式がありました。本校からは3年の鷹取和也さんが優秀賞で表彰されました。堂々とした返事と礼法がキラリと光る立派な姿でした。最優秀賞3名は作文朗読がありました。それぞれの家庭の温かい雰囲気が聞く人の胸にしみ通りました。その後、『白い船』の上映。子どもたちの“ひたむき”な気持ちが周りの人々を動かしていく姿に思わず目頭が熱くなりました。



“平成 28 年度善行少年表彰式”

11月28日（月）16時から、美作警察署で平成28年度善行少年表彰式が行われました。本校生徒会（代表：前期生徒会長・唐澤賢汰さん、書記会計・森元梨湖さん）が、セルフコントロール My スマホの取組やひたむきに活力ある勝田中学校づくりに貢献したことで表彰されました。また、3年生の鷹取和也さんと侑也さんが、勝田中学校や勝田小学校、地域の草刈りボランティアや農業支援、さまざまな地域交流に積極的に取り組んでいることで個人表彰されました。唐澤さんは1個人3団体の受賞者を代表して挨拶をさせていただきました。ノーマイク・ノー原稿の勝田中学校の校風はここでも立派に発揮されました。また、4人共に挨拶や返事・礼法に勝田中学校代表としての自覚が表れ、堂々とした態度で臨むことができました。



“美作市人権のつどい”表彰式



12月3日（土）13時から、美作文化センターで美作市人権のつどいが開かれました。本年度の人権作文の最優秀賞に3年の唐澤賢汰さん、優秀賞に2年の坂元新さんが選ばれました。また、ポスターの部の優秀賞には3年の長畑杏奈さんが選ばれ、作品展示が行われました。

ここでも、3人の代表者はりりしい姿を披露し、中学生としての自信と誇りが感じられました。唐澤さんは、人権作文「ハンセン病について」を朗読。聞いて下さっている多くの皆さんに顔を向けながら、差別と偏見のない社会にしていくために自分たちができることを伝えました。発表後には、観客の方から「感動しました。」とお声かけもいただきました。

“岡山県児童・生徒いじめ防止ポスター・標語”表彰式

12月17日(土)10時半から岡山県立図書館で表彰式があり、本校3年生、森元梨湖さんが標語の部で優秀賞をいただきました。

『やめようよ 言える勇気を ふりしぼれ』森元さんのこの標語は、本校が進めている“いじめ0宣言”のできる学校づくりに最も大切な態度が示されています。いじめ根絶に向けて行動できる、Noと言える環境を作り、互いを思いやるやさしい気持ちやいじめを許さない強い心を育てていきます。



そのほかにも、たくさんの生徒たちが、いろいろな部門で表彰していただきました。

平成28年度 JA 共済岡山県小・中学生書道コンクール 〈入選〉 1年：有元夢遥さん
美作市・西粟倉村児童生徒作品展【描画の部】

〈準特選〉 3年：駿口優翔さん、1年：那須はるかさん 〈入選〉 1年：森元陽斗さん
「明るい家庭づくり」作文 岡山県 〈佳作〉 3年：鷹取和也さん
美作市・英田郡〈佳作〉 2年：泉朋佳さん 1年：福田恋さん

平成28年度美作市人権啓発コンクール

【標語の部】 〈優良賞〉 3年：長畑杏奈さん
〈入選〉 3年：森元梨湖さん 2年：東実花さん

【ポスターの部】〈入選〉 2年：絹田凧穂さん 1年：有元夢遥さん

第36回全国中学生人権作文コンテスト津山地区大会 〈優秀賞〉 1年：木村春香さん

小学校の授業づくりに学ぶ



11月30日には勝田東小学校のユニバーサルデザインのモデル授業研究会に参加。12月5日には勝田小学校に授業参観に行きました。

勝田中学校の全教員が、小学校の授業づくりに学ぶ研修です。今、中学校ではICT機器を多用しながら、わかりやすい授業づくりや生徒が活動する授業づくりを工夫しています。



小学校でどのような授業づくりをされているかを知ること、中学校に入学した子どもたちが小学校と中学校のギャップに戸惑わないようにできればと思っています。小学校の先生方も本校の研究会に積極的に参加して下さり、中学校での授業展開を知って小学校から中学校へとスムーズにつなぐことができるようにしています。

かつたっ子授業のスタンダード

『かつたっ子15の春プロジェクト』では、小学校と中学校の授業の流れを共通のものにして、小学校から中学校へと、かつたっ子たちがスムーズに授業に入っていけるための工夫を始めています。それが、『かつたっ子授業のスタンダード』です。

勝田小学校の岡山型授業のスタンダードを基本とした授業づくり、勝田東小学校のユニバーサルデザインのモデル授業、勝田中学校のICT教育推進モデル校事業の授業づくりをベースにして各校で子どもたちが「わかった」「できた」と実感でき、意欲をもって取り組むことのできる授業づくり、確かな学力が定着する授業づくりを進めています。

本校では、10月26日（水）の美作市教育委員会指定 ICT 教育推進モデル校事業の授業研究会に続いて、12月8日（木）に文部科学省人権教育研究指定校事業の研究会を開催しました。

平成28年度文部科学省人権教育研究指定校事業

人権教育研究会

12月8日
（木）



参加者の皆様に研究
概要の報告



1年『共に生きる心』



2年『いじめをな
くすために行動を
起こそう』



3年『共に生きる』
～さまざまな人権問題
について考える～

研究会当日は60名を超える皆様の参観をいただきました。各学年ともICT機器を活用した発表やロールプレイなど、生徒たちが工夫した自己表現の方法が示されていました。大勢の方々の前でもノーマイク・ノー原稿で堂々と発表する姿や、グループでの話し合い活動で自分の意見を述べ、まとめていく様子に勝田中学校での日常の授業風景が表れていました。また、毎日の学校生活の中でとらえた人権課題について「どこが問題なのか?」「どうしたら解決できるか?」「日々の生活の中で自分はどの行動したらいいか?」を考える場面もありました。明日からの学校生活でできることから始めていく、自分たちの生活に生きる本校の人権学習の基本です。成長途上である学校生活には、まだまだ多くの課題があります。机上の学習だけではなく、各々の人生に活かすことのできる力を育てる、これからの社会を生き抜いていく力につながる学習を今後も粘り強く進めて参ります。そのために、認めるべき努力は十分にほめ、間違っていることは厳しく指導しながら、教育を続けます。ご家庭にも学校の様子をこまめにお知らせするようにいたしますが、ご質問等はいつでもお気軽にお申し出下さい。

しっかり体も動かして

インフルエンザも流行の兆しを見せていますが、冬期の健康維持はとても大切です。部活動の時間も短いため、体を十分に動かす機会が少なくなっています。手洗いやうがい、換気に注意することはもちろんですが、体育授業での運動量も確保するようにしています。12月16日（金）の午後、生徒会保健体育委員会が球技大会を実施しました。

今年は、バスケットボールに挑戦です。全学年混成チームで、男子4チーム、女子3チームのリーグ戦でした。女子対抗戦には教員チームも入って、熱戦が繰り広げられました。男子はDチーム、女子はCチームが優勝、保健体育委員長の井上大輝さんから表彰されました。生徒たちの力で運営する大会です。これからも生徒のつながりと活気を生む大会になるよう、生徒会が頑張ります。

女子はCチーム優勝



男子はDチーム優勝





夢講座

12月13日（火）9時15分～
かつた市民センター



勝田・勝田東小学校の5, 6年生と勝田中学校全校生徒が参加して、夢講座を開きました。『恐竜の調査は「同じ釜の飯を食う」ことから』と題して、岡山理科大学の石垣忍教授が、モンゴルで行っている恐竜の骨や足跡の化石発掘調査について、標本や写真を使ってわかりやすくお話しして下さいました。生徒たちもたくさん学び、たくさん考えたことが一人一人の感想からわかりました。全員の感想を紹介できないのが残念ですが、1年生の感想を紹介します。

夢講座を聞いて、国が違う方々と接したりするときには、相手とお話をよくしたり、一緒に行動をすることが必要だということがわかった。それに、相手をけなさずにほめたりすればいいということが分かったから、これからはそういう風に相手と仲良くしていきたい。ゴビ砂漠で見つけたティタノサウルス類の左後ろ足の跡の化石は106cmもあると聞いて、とてもびっくりした。今までは、50cmくらいなんだろうなと思っていたけど、こんなに大きいとは思わなかった。今までに石垣先生は肉食動物を約10体、草食動物を約5体くらい見つけられていて、こんなに見つけられるんだと思った。恐竜の目は脳に近いところにあると分かった。恐竜の歯はすごく固いと思っていたけど、本当はすごく取れやすいと聞いて、そうだったんだなと思った。

『恐竜の調査は「同じ釜の飯を食う」ことから』と初めて聞いたときには、どういう意味なんだろうと疑問に思いました。石垣先生の話聞いて、化石発掘にも団結力が必要なんだと知ることができ、題名の意味を知ることができました。恐竜の目の位置をクイズなどで説明していて楽しく恐竜を知ることができました。石垣先生がとても楽しそうに話しているので、聞いている僕も楽しかったです。化石の重さが頭だけで200kgもすると聞いてとても驚きました。機会があれば、また石垣先生の恐竜の話を知りたいです。

中学校体育連盟の優秀選手が新聞発表されました。本校では、次の皆さんが選ばれました。競技だけでなく、学校生活全般において他の生徒たちの模範となる人に授与される賞です。この受賞を力にして、今後の人生も力強く切り拓いてください。

《美作地区中体連優秀選手》

◆卓球女子 長畑杏奈さん

◆柔道女子 水島麗奈さん

《美作・勝田・英田支部中体連優秀選手》

◆野球 唐澤賢汰さん

そして、次の勝田中学校を担う後輩の皆さんも、学習面や行動面も含め、先輩たちの後継ぎ、堂々とひたむきに中学校生活を輝かせて下さい。

冬休み、家庭での時間を大切に…

12月22日（木）2学期終業式から、1月6日（金）実力・課題テストまでは、家庭での時間です。セルフコントロールの力がポイントです。メディアの時間、家庭学習の時間はもちろんですが、健康管理も大切です。1月6日に元気に再会しましょう。ご家庭でもご指導・ご助言をお願いします。

1月6日（金）
元気に登校し
てください。